

第1会場

午前の部 9:30~12:20

1. シェアリングエコノミーの広がり消費者教育の可能性
○沼田夫佐与(日本女子大学大学院生)・天野晴子(日本女子大学)
2. 高校家庭科における消費生活・環境分野での継続的授業実践—3つのタイプ別高校での授業効果—
○堀江雅子(兵庫教育大学連合大学院生)・大藪千穂(岐阜大学)
3. 中学生のプリペイド電子マネーに対する意識に影響を及ぼす要因の検討—地方と都市部の比較—
○加賀恵子(弘前大学)
4. 生涯賃金モデルに基づくパーソナル・ファイナンス教材開発～生涯賃金モデル試算と非消費支出・iDeCo 節税効果の試算～
○古寺浩(金城学院大学)・恒川日出美(金城学院大学研究生)
5. 放課後児童クラブを利用する小学1～4年生を対象とした消費者教育プログラムの開発と検証～「契約」と「消費者の役割」に着目して～
○松永恵子(金城学院大学大学院研究生)・上野顕子(金城学院大学大学院)

午後の部 13:20~16:10

6. 成年年齢引下げに伴う消費者教育の課題—自立度チェックと「社会への扉」を用いた検討—
○小田奈緒美(金城学院大学)・東珠実(椋山女学園大学)・伊佐地由梨(お茶の水女子大学大学院)
7. 消費者教育としての民法教育—成年年齢引き下げを踏まえて—
○池内博一(追手門学院大学)
8. 消費者教育におけるパフォーマンス課題を取り入れた協調的問題解決学習の効果
○野中美津枝(茨城大学)
9. 教職課程履修学生を対象とした質問作り(QFT)の授業での学生の学びの分析
○長谷川元洋(金城学院大学)・清水克博(愛知教育大学)・上野顕子(金城学院大学)・新谷洋介(金沢星稜大学)・榊原博美(愛知学院大学)
10. 名古屋市と連携した学内消費者教育実践におけるルーブリック評価
○三宅元子(名古屋女子大学)

第2会場

午前の部 9:30~12:20

1. 特別の教科「道徳」における消費者教育の提案—自律的な消費者マインドの育成を目指して—
○鈴木真由子・大本久美子・金光靖樹(以上、大阪教育大学)
2. 学校消費者市民教育のカリキュラム開発—海外の道徳教育からの示唆—
○大本久美子・鈴木真由子(以上、大阪教育大学)
3. SDGs の概念を取り入れた技術・家庭科での消費者教育の提案
○竹下浩子(愛媛大学)・大本久美子(大阪教育大学)・大野真貴(大阪教育大学附属池田中学校)・小曾根潮(立命館宇治中学校・高等学校)
4. SDGs を軸とした中学校技術・家庭科(家庭分野)の授業デザインの成果と課題—エシカルな消費生活を目指して—
○大野真貴(大阪教育大学附属池田中学校)・大本久美子(大阪教育大学)・竹下浩子(愛媛大学)
5. SDGs を意識した中学校技術・家庭科(技術分野)の授業デザインと実践—グローバルな視点のものづくり体験を通して—
○小曾根潮(立命館宇治中学校・高等学校)・大本久美子(大阪教育大学)・竹下浩子(愛媛大学)・大野真貴(大阪教育大学附属池田中学校)

午後の部 13:20~15:35

6. 学校教育支援における消費者教育コーディネーターの現状と課題—消費者行政に対する調査結果より—
○井出奈緒・松原由加(以上、公益財団法人関西消費者協会)・小牧美江(大阪司法書士会)・鈴木真由子(大阪教育大学)・野口美樹(関西支部会員)・吉井美奈子(武庫川女子大学)
7. 地方における消費者教育推進に関する短期的方策と長期的方策の検討
○色川卓男(静岡大学)
8. 1970年代の企業への教育活動—一般財団法人日本消費者協会「コンシューマー・オフィサー養成講座」の意義—
○神山久美(山梨大学)
9. 消費者志向経営を促進する従業員研修のあり方に関する一考察
○河原佑香・柿野成美・庄司佳子・小林知子(以上、公益財団法人消費者教育支援センター)

第3会場

午前の部 9:30~12:20

1. 消費者教育におけるデジタル・シティズンシップ教育の意義と課題
○吉井美奈子(武庫川女子大学)
2. インターネット利用における消費者意識・行動の変化—デジタルプラットフォームを介した取引を中心に—
○北島孝紀・尾崎裕子(以上、消費者庁)
3. 小学校家庭科におけるオンラインゲーム利用時のおこづかいの使い方を考える授業の開発とその検証—プリペイドカードによる課金システムの利用体験ができる教材を活用して—
○上野顕子(金城学院大学)・新谷洋介(金沢星稜大学)・長谷川元洋(金城学院大学)
4. 買い占め行動と消費者被害に関する実証分析—コロナ禍におけるデジタル利用の影響—
○坂本有芳(鳴門教育大学)・松田絢子(関西大学)・稲倉典子(四国大学)

5. 美容・健康情報広告における「打消し表示」効果に関する実験的検討
○山本輝太郎(明治大学)

午後の部 13:20~16:10

6. 高等学校の消費者教育における外部講師による出前講座の学習効果についての分析
○村上陸美(奈良教育大学)
7. 消費者市民社会を担う大学生の育成に関する一考察—岡山県消費生活センター事業に参画して—
○田村久美(川崎医療福祉大学)・矢吹香月(岡山県消費生活センター)
8. 障がいの特性に応じた消費者教育教材についての考察
○矢吹香月(岡山県消費生活センター)・田村久美(川崎医療福祉大学)
9. 高校生の消費行動に対する意識と消費者教育の課題と展望—新科目「公共」教科書の分析を通して—
○高橋勝也(名古屋経済大学)
10. 小学校における食品ロス学習の新たな可能性と課題
○石島恵美子(茨城大学)・松葉口玲子(横浜国立大学)